

【徴古館農業館】木曜日(祝日の場合はその翌平日) 年末3日間は休館
 【美術館】木曜日(祝日の場合はその翌平日)
 【せんぐう館】毎月第2・4 火曜日(祝日の場合はその翌平日)
 ※展示替えによる臨時休館有り
 ※その他臨時に休館することがあります。詳しくはホームページをご覧ください。

令和3年 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 令和4年 1月 2月 3月

本館常設展示【①神宮のおまつり(外宮御饌殿復原展示) ②第59回式年遷宮奉賛美術品-戦後の遷宮を支えた芸術家たち-等】

本館 御装束神宝展示

開催中～8月23日(月)

8月27日(金)～

神宮式年遷宮にて調製される御装束神宝の数は714種1576点に及び、古代から現在に至るまでの長い歴史の積層と最善を求める考証・技術の上で調製されている。展示では各室毎にテーマ(御装束類・武具・調度品)を絞り、御装束神宝を通して神宮と式年遷宮が伝えてきた我が国の歴史と文化について紹介する。
 ※期間中展示替有り

皇室御下賜品・明治の産業と自然史の資料・明治時代の剥製

大正・昭和の蠟細工 開催中～

大正から昭和にかけて製作された蠟細工のうち、菌糸類・果樹類蠟細工模型を展示。併せて田中芳男が作製した蠟墨による採取標本(掛軸)等を展示する。

【和の饗宴-美術館アーカイブス-】第Ⅰ期

開催中～7月19日(月)

【和の饗宴-美術館アーカイブス-】第Ⅱ期

7月22日(木・祝)～12月7日(火)

【和の饗宴-美術館アーカイブス-】第Ⅲ期

12月10日(金)～令和4年4月18日(月)

平成5年に開館した神宮美術館は、当代一流の作家の方々から奉納された、式年遷宮奉賛の真心こもる作品が収蔵されている。その点数は現在460点を超え、我が国の美術工芸作品のあゆみを展望できる美の殿堂を目指し活動している。本年度は数あるコレクションの中から、『神宮美術館収蔵品図録』第1輯～3輯に収められた各約30点の作品を3期に分けて展示し、当館の歩みを振り返る機会とする。

《20年に1度行われる式年遷宮の祭と、神々に奉られる御装束神宝を調製する技と自然から得られる素材について紹介する》

展示室3 【①永遠の匠たち-御装束神宝調製の技-】

鶴斑毛御彫馬 公開中～6月20日(日)

玉纏御太刀 6月24日(木)～令和5年6月25日(日)

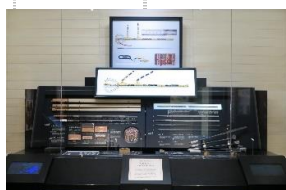
展示室4 【②永遠の匠たち-御装束神宝調製の技-】

御鏡・轆轤篁 公開中～6月20日(日)

梓御弓・矢 6月24日(木)～令和4年6月26日(日)



鶴斑毛御彫馬
(つるぶちげのおんえりうま)



玉纏御太刀
(たままきのおんたち)



梓御弓
(あずさのおんゆみ)



矢
(や)

展示室7 企画展示 【神宮125社-摂社・末社・所管社の遷座-】

開催中～令和4年3月31日(木)

第62回神宮式年遷宮完遂後、引き続き約10年かけて行われる摂社・末社・所管社の遷座祭について、令和3年度に斎行予定の神社を紹介する。